

今年も4月27日・28日の2日間、附属校新任教諭APU研修が実施され、この4月から各附属校に着任された新任の先生方がAPUを訪問しました。APU研修は、附属校の教員が自ら「児童・生徒に『APUの魅力』を語れるようになる」ことを目標とし、今回で10回目となります。

APU通信では、今号よりリレー形式で、『教員の視点から見たAPU』をお届けします。

なお、2015年度APUオープンキャンパスが①7/20(祝月)、②8/2(日)、③11/1(日)に開催されます。オープンキャンパス専用ツアーも受付中です。

オープンキャンパスの申込・詳細は、[APU mate.net](http://www.apumate.net)で検索して、「イベント情報」のページをご覧ください。 http://www.apumate.net/event_info/opencampus.html



APU 通信

立命館守山中学校・高等学校
服部紀代（養護）

自分と、そして他者と向き合うAPU

今年度 4 月から立命館守山中学校・高等学校に入職した養護教諭の服部です。新しい環境ですから、毎日が「学び」です。ポチポチやっていきます。

さて、私は 4 月末に APU 研修に参加してきました。初めての APU では、山の上の広大な敷地の中、たくさんの学生たちがのびのびと生活しているなと感じました。日本人学生と留学生が共生し、「多文化」と出会い、そして「多文化」を通して自分の文化を知り、深めていくことができる学生生活ではないかと感じました。



今回、私たちの研修では、いつもの皆さんの生活のように、授業を受け、グループワークをしました。その中で、「大学は何をする場所なのだろう？」という大きなテーマをもらい、ディスカッションをしました。「正解はありません」と最初に言われたのに、ディスカッションは力が入りました。ディスカッションでは「専門知識を得る場所」「社会性を学ぶ場所」という話が出てきました。中学生や高校生の皆さんは、大学は何をする場所だと考えているのでしょうか？ 私たち教員の考えと同じでしょうか？ もちろん勉強だけではなく、たくさんの人と出会い、たくさんのことにチャレンジし、そしてたくさん遊ぶこともできるでしょう。私の好きな E.H.エリクソンはライフサイクル理論の中で「人生は 8 つの段階に分かれていて、その段階ごとの乗り越えるべき課題がある」と言っています。



す。人は生まれた時から亡くなる時までずっと、何らかの課題を抱え、それ乗り越えながら生きていくのです。そうやって人は成長し続けるのだと思います。

APU での生活は、親元から離れることや学習面の厳しさなど、辛いことがあるかもしれませんが、しかし、たくさんの出会いから、さまざまな考えにも触れることができるのではないかと思います。進路のひとつとして気になっているならば、先生たちとじっくりと相談してみてくださいね。

* 大分は 4 月末にもう藤の花がきれいに咲いていました！



APU ってどんなところ？

夢を追いかける場所です



ぼくの生まれた町は小さくて、いつか世界に出てみたいと思った。今は日本に本社がある会社に入社して、将来母国に語学学校を創るのが夢。

ハヤトさん（ウズベキスタン出身）

日英二言語で授業を受けられる！？

日本の学生にも、他国から来た学生にも同じように学びの機会があるのが第一の特徴です。1 回生の時に、日本の学生は集中的に英語の授業を、他国から来た学生は日本語の授業を受けます。そして卒業までに必ず英語（日本語）で行われる授業を 20 単位以上取らなければならないのです。いろいろな国の人とコミュニケーションできること間違いなし。

夢を叶える場所です

この大学に来るのが夢でした。そして、その夢が叶ったから次の夢も叶う気がします。20 年後ぐらいに自分の観光会社を創りたいな。



アチェさん（インドネシア出身）



一年が 4 学期制！？

通常の大学は前後の二期制をとっています。しかし APU は年四期のクォーター制を取り入れています。これにより、年度の途中で進路が変わってもすぐに対応ができます。そして、年度の変り目が違う他国への留学がしやすくなるのです。もちろん試験やレポートを提出する期間も短くなりますが、目的をもって学ぶには最適の環境です。

夢を育てる場所です



昔はエンジニアになりたいかった。そして今は機械工学に詳しいマーケティングリーダーになりたい。英語で講義してくれるこの大学いいね。

グレッグさん（アメリカ出身）



興味をもったら調べてみよう！

9 月に行われるワールドウィークでは、たくさんの APU 学生の皆さんが立命館小学校に来てくれます。気になったことをどんどん質問してみよう！



A P U 通 信

発行元

立命館宇治

中学校・高等学校

5 月号

特別号

なぜ先輩はAPUを選んだのか？

APUに進むのか…

立命館大学に進むのか…

そんな悩みに直面している君たちに朗報！附属校出身の先輩たちからAPUライフを語ってもらいました。

ケース1

立命館守山高校出身(二回生)

Mさんの場合

「最初は国関志望でした」

現在、APUの二回生であるMさん。実は、直前まで立命館大学の国際関係学部に進学すると心の中で強く決めていた。

そんなMさんに大きな転機が訪れたのは、教室掲示されていたAPUのポスターをふと目にした時のこと。APUとの運命の出会いである。

「新しい自分に出会える」

APUについて調べていくにつれ、「やりたいことはAPUにある」と強く感じ、自分の判断でAPUへの進学を決めた。

価値観の異なる人々と共に学んでいく日々。「価値観のぶつかり合いの中で、自己の成長を実感している」と語るMさんの目は自信に満ちあふれていた。

「チャレンジングな大学生活」

Mさんは、学業の傍ら、発展途上国で英語を教えるボランティア活動にも取り組んでいる。また、今年の秋にはイギリスへの留学も控えており、個を高めるための着実な一歩を踏み出している。

それも、周囲の学生の意識の高さから刺激を受けているからであるとMさんは語る。



Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

ケース2

立命館宇治高校出身(二回生)

Kさんの場合

「APUへの進学＝自分への挑戦」

幼いときから、海外での生活が長く、自然と国際社会への関心が高まっていたというKさん。立命館宇治ではIMコースに在籍し、在学中にはカナダへの留学も経験している。一般の高校生と比べると、十分すぎるほどの国際経験をしているようなKさんではあるが、さらなる自己成長を追い求めている。

「平凡な大学生活より、チャレンジングな環境に身を置きたい。」

自分への挑戦がAPUへの進学につながったのである。進学後の大学生活が彼女の期待を裏切らなかったことは言うまでもない。

「うまく使えば可能性は無限大」

IMコースでの経験を絶対に無駄にはしたくなかったというKさん。これまでの経験がAPUでの学生生活に大きく生かされているという。特に、サークル活動は国際学生も多く参加しており、交流を通じてお互いの絆が深まっているとのこと。国際社会の縮図が、APUには存在しているのだ。そんな充実した学生生活も、自己の主体性があったること。無駄に覇気のない大学生活を過ごす人間も多くいる中で、大切なことはAPUの環境を自分のために最大限に生かせる人間であるかどうかであるとKさんは語る。

編集後記(悩める附属生へ)

もし君たちが、APUに約束された成功体験を期待するのであれば、申し訳ないが進学はやめたほうがいい。そうではなく、「自分の可能性のある未来」を探すのであれば、同じ志を持った意識の高いAPUの学生が快く迎えてくれるだろう。

APU 通信

立命館中学校・高等学校 英語科 橋本彩

Do you know its location?

みなさん、APU ってどこにあるのかご存知でしょうか？新幹線小倉駅から特急列車に乗り換え1時間。車窓はいつまでたっても山、山、山…。本当にここで合っているのだろうかと不安に駆られる頃、ようやくかの有名な温泉街、別府駅に到着します。京都から離れること、約4時間。そして別府の温泉街からさらに離れること約30分。山のとっぺんをスパッと切り取って作ったような台地に、APU は突如現れます。大学を挟んであっちとこっちの道路が両方下り坂なので、ここは山のとっぺんということで間違いありません。

いつも霧がかっていて、強風が吹くのだそうです。周りは一面緑の山。そんな大自然の中で繰り広げられる、世界一国際的な学校生活を少しご紹介したいと思います。

Enjoy the full immersion of its International environment!

APU の大学生活を「国際的」という言葉抜きには語ることはできません。では、どこが国際的なのか？

まずは授業が「日英二言語開講」であること。つまり、同じ内容の授業を日本語でも受けられるし、英語でもうけられるというもの。より国際学生が多いのはもちろん英語開講授業なので、しっかり英語力をつけて国際学生と机をならべれば、日本にいながらにして、海外大学で学んでいるかのような環境に！

続いては、「AP HOUSE」。APU1年生は学部や国籍に関わらず全員が寮生活を送ることになっています。この AP HOUSE、まるで海外の大学寮のよう！フロアの作りや、シェアルームのレイアウトなどの内装もちろん、学生スタッフの制度なども海外の大学寮そのもの！シェアルームは必ず国際学生とのペア。時にはケンカもするけれど、退寮した後も、卒業した後も、大切な仲間になること間違いなし！APU に来たら、AP HOUSE ライフを楽しむべし！

こんなふうに、APU の国際色を支える国際学生はなんと全学生数の約半数を占めています。キャンパス内では一体どこの国にいるのか分からなくなるほど、たくさんの言語とたくさんの文化が入り交じっています。



Get the chances on campus!

APU はキャンパス内に将来につながるようなチャンスがいっぱい。個性豊かな日本人学生との出会いや、志の高い国際学生との出会いはもちろん、サークル活動や、寮生活、ボランティア活動など、社会に出ても胸を張って語れる経験を自分次第でいくらでもつかむことができます。

例えば寮のリーダーである RA(Resident Assistant)はいつも人気職。寮生のサポートや、イベントの企画など、苦労は多いけれど人として得るものも大きい。しんどいと分かっているけど、それが自分の経験になるのならば！と熱いハートを持った学生の応募が殺到します。もちろん、国際学生も RA になることができます。また、Teaching Assistant も、APU 学生から募られ、構成されています。上級生が下級生の学習をサポートし、互いに学び合うという環境も整えられています。大学の規模としては大きくない分、一人一人との濃密な関係が築けるのも APU の魅力ではないでしょうか。

